# 感染症患者発生情報 (週報)

# 埼玉県内情報 2025 年 第 41 週 (10月6日~10月12日)

一類及び二類 (結核を除く) 感染症 報告なし

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 5人 類型 患者 1人、無症状病原体保有者 4人

血清型 O157 1人、O103 2人、

O146 1人、O165 1人

四類感染症 E型肝炎 2人 推定感染地域 国内 2人

レジオネラ症 1人 病型 肺炎型

五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1 人 菌種 Escherichia sp.

急性脳炎 1人 病原体 ライノ/エンテロウイルス

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2人 血清群 A群 2人

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1人

侵襲性肺炎球菌感染症 3人

梅毒 4人 病型 早期顕症 I 期 2人、

早期顕症Ⅱ期 1人、

無症状病原体保有者 1人

百日咳 80 人

年齢階級 0歳 2人、1歳 2人、3歳 1人、4歳 2人、

5歳 3人、6歳 4人、7歳 3人、8歳 4人、9歳 5人、 10歳代 24人、20歳代 7人、30歳代 5人、40歳代 10人、

50 歳代 4人、60 歳代 3人、70 歳代 1人

### 〈百日咳の患者情報〉

第41 週に届出があった**百日咳**の患者数(第40 週以前に診断された患者を含む)は80 人であった(前週72 人)。 第41 週に診断された患者数は63 人で、この内訳を年齢階級別にみると、10~14 歳が19 人(全体の約30%)と最も多 く、次いで5~9 歳が12 人(約19%)であった**(図1)**。

(参考) 埼玉県感染症対策課 最新の感染症情報(URL:https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/news/widespread-infectious\_disease.html)

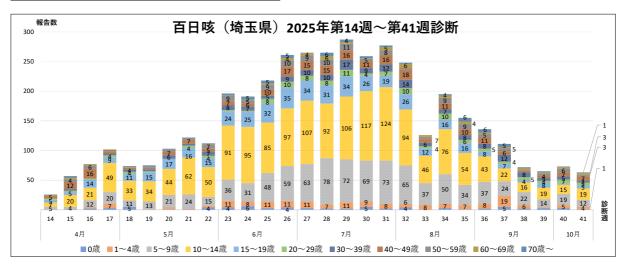
#### 〈定点把握疾患の患者情報〉

新型コロナウイルス感染症(5.80\*→4.71:図2)の定点当たり報告数は、第38週以降減少傾向にある。基幹定点における入院患者の報告は26人(前週32人)であった。インフルエンザ(2.15\*→3.92:図3)の定点当たり報告数は、前週に引き続き増加した。保健所別では、県内全17保健所管内中、14保健所管内で前週の値を上回り、特に鴻巣(1.58→9.25)保健所管内で大きく増加した。基幹定点報告疾患の一つであるマイコプラズマ肺炎(図4-1,2)は、33人(定点当たり報告数2.75)の報告があり、2週連続で大きく増加した。年齢階級別では、2024年の流行のピークである第44週を中心とした前後3週(第43週~第45週)と比較して、5~9歳の割合が多く、全体の約58%であった。RSウイルス感染症(1.62\*→1.81:図5)の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であり、過去4年の同時期と比較して多い状況にある。年齢階級別では、1歳以下が全体の約65%であった。急性呼吸器感染症(80.34\*→82.03:図6)の定点当たり報告数は、報告開始となった4月以降、おおむね60.00~80.00の範囲で推移している。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎27人の報告があった。その他の基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎1人、感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)1人、インフルエンザ(入院)3人の報告があった。

\* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載。

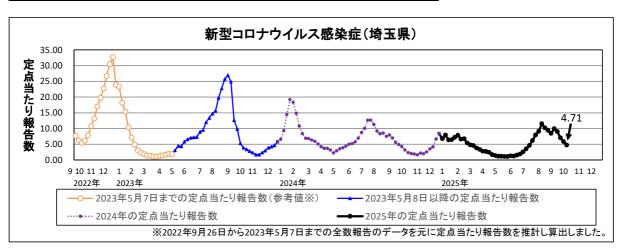
## <注目すべき疾患(百日咳)>

# 図1 百日咳の診断週別報告数の推移

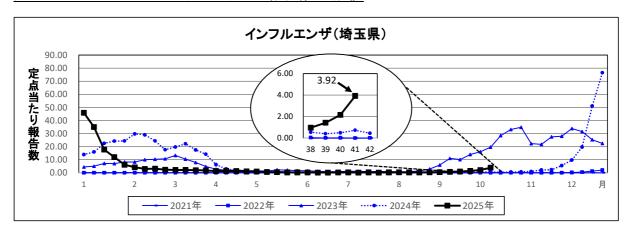


# <今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

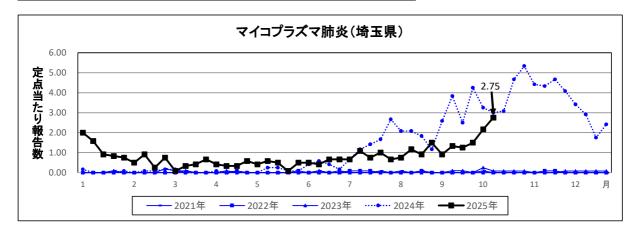
# 図2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



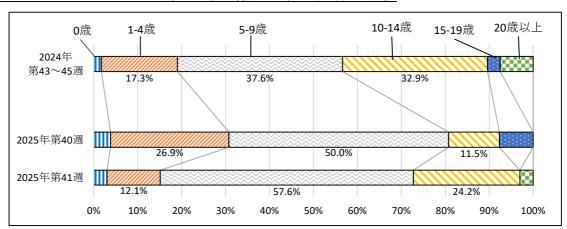
# 図3 インフルエンザの定点当たり報告数の推移



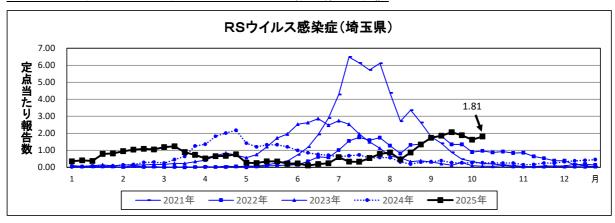
# 図 4-1 マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数の推移



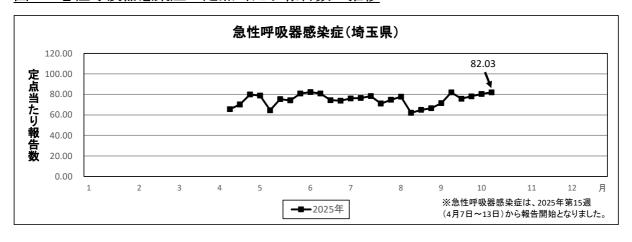
# 図 4-2 マイコプラズマ肺炎の年齢階級別報告割合の推移



## 図5 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



### 図6 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



# 感染症発生状況(全数把握対象疾患) (第41调)

(2025年10月14日 15:00集計) 今调 今週 累 届出 計 届出 計 一類感染症 ペスト エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱 マールブルグ病 ラッサ熱 痘そう 南米出血熱 二類感染症 急性灰白髄炎 中東呼吸器症候群(MERS) 鳥インフルエンザ(H5N1) 結核 \* 1 鳥インフルエンザ(H7N9) ジフテリア 重症急性呼吸器症候群(SARS) 三類感染症 コレラ 腸チフス 3 4 パラチフス 細菌性赤痢 139 腸管出血性大腸菌感染症 5 四類感染症 E型肝炎 2 32 東部ウマ脳炎 <u>鳥インフルエンサ(H5N1及びH7N9を除く)</u> ウエストナイル熱 ニパウイルス感染症 A型肝炎 エキノコックス症 日本紅斑熱 1 日本脳炎 エムポックス 黄熱 ハンタウイルス肺症候群 1 Bウイルス病 オウム病 オムスク出血熱 鼻疽 ブルセラ症 回帰熱 1 ベネズエラウマ脳炎 キャサヌル森林病 ヘンドラウイルス感染症 Q熱 発しんチフス 狂犬病 ボツリヌス症 コクシジオイデス症 ジカウイルス感染症 マラリア 3 野兎病 重症熱性血小板減少症候群 腎症候性出血熱 ライム病 リッサウイルス感染症 西部ウマ脳炎 ダニ媒介脳炎 リフトバレー熱 炭疽 類鼻疽 チクングニア熱 1 レジオネラ症 77 1 1 レプトスピラ症 つつが虫病 1 デング熱 5 ロッキー山紅斑熱 五類感染症 8 侵襲性肺炎球菌感染症 127 アメーバ赤痢 ウイルス性肝炎(E型・A型を除く) 9 水痘(入院例に限る) 23 カルバへ。ネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1 60 先天性風しん症候群 429 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) 3|梅毒 4 37 播種性クリプトコックス症 急性脳炎 1 3 クリプトスポリジウム症 6 クロイツフェルト・ヤコブ病 10 バンコマイシン耐性黄色ブトウ球菌感染症 3 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 52 バンコマイシン耐性腸球菌感染症 後天性免疫不全症候群 25 百日咳 80 4393 風しん ジアルジア症 17 麻しん 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 10 4 薬剤耐性アシネトバクター感染症 侵襲性髄膜炎菌感染症

### 結核届出状況(2025年9月分)

2025年9月の届出総数は、患者34人、無症状病原体保有者12人の計46人であった。前月と比べると患者数、無症状病原体保有者数ともに同水準であった。過去1年と比べると、患者数は同水準であり、無症状病原体保有者数は少なかった。推定感染地域は国内23人、国外4人、不明19人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2024年9月~2025年9月)

	(1)														
-	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計**
総計	59	64	58	76		65	51	58	59	61	68	55	40	46	503
年齢階級															
10歳未満	1	1	1	1		2	4	2	1	2	0	0	1	1	13
10歳代	0	2	0	2		0	1	0	0	4	0	1	1	0	7
20歳代	6	4	4	11		7	5	7	5	7	8	8	6	7	60
30歳代	4	6	0	6		5	2	3	3	5	6	5	2	1	32
40歳代	0	6	5	4		1	5	8	5	4	6	3	6	4	42
50歳代	8	9	9	7		14	6	3	10	5	8	4	4	7	61
60歳代	8	7	4	9		6	7	7	4	5	8	10	1	5	53
70歳代	17	7	12	10		13	8	11	7	9	14	7	2	8	79
80歳代	9	17	18	17		8	12	11	11	13	12	15	12	10	104
90歳以上	6	5	5	9		9	1	6	13	7	6	2	5	3	52
性															
男	39	36	32	44		44	30	34	41	26	41	33	20	32	301
女	20	28	26	32		21	21	24	18	35	27	22	20	14	202
類型															
患者	37	40	35	43		34	29	35	40	38	47	38	29	34	324
感染症死亡者の死体	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	1	0	0		1	0	0	0	1	1	0	1	0	4
無症状病原体保有者	22	23	23	33		30	22	23	19	22	20	17	10	12	175
病型															
肺結核	26	29	24	30		22	22	27	28	23	27	24	17	23	213
肺結核及びその他の結核	4	4	3	5		4	3	2	6	4	5	4	5	2	35
その他の結核	7	7	8	8		8	4	6	6	11	15	10	7	9	76
疑似症患者	0	1	0	0		1	0	0	0	1	1	0	1	0	4
無症状病原体保有者	22	23	23	33		30	22	23	19	22	20	17	10	12	175
推定感染地域	•								•			•		•	
国内	28	38	40	50		38	28	35	24	35	40	31	18	23	272
国外	3	3	4	6		10	4	5	3	4	8	4	6	4	48
不明	28	23	14	20		17	19	18	32	22	20	20	16	19	183

\*:2024年の届出数は暫定値

\*\*: 2025年1月からの累積届出数

9月に診断された46人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計23人の報告があり、60歳代以上が12人で約52%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2025年9月分)

			病 型			40 = 1
	肺結核	肺結核及び その他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体 保有者	総計
総計	23	2	9	0	12	46
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	1	1
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	5	0	0	0	2	7
30歳代	0	0	1	0	0	1
40歳代	2	0	1	0	1	4
50歳代	4	0	0	0	3	7
60歳代	2	0	1	0	2	5
70歳代	3	1	2	0	2	8
80歳代	4	1	4	0	1	10
90歳以上	3	0	0	0	0	3

	感染症	発生状況	兄(定点把	<b>巴握対象</b> 療	€患)					患者数		保健所	別	(2025年)	第41週		10月6日	~10月1	2日)				
保	健 所	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス感染症	急性呼吸器感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	ラミジア	染性胃腸炎ロタウイルス	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス(入院) 感染症
全	県 報告		824	14,355	199	23	305	447	32	48	41	37	74	9	1	27	-	1	33	-	1	3	26
	定点当た	り 3.92 数 133	4.71 119	82.03 1.167	1.81 14	0.21	2.77 21	4.06 33	0.29	0.44	0.37	0.34	0.67 6	0.08	0.02	0.64		0.08	2.75 10		0.08	0.25	2.17
朝	霞 定点当た		7.44	72.94	1.40	0.10	2.10	3.30	0.10	0.30	_	0.10	0.60	_	_	_	_	_	10.00	_	_	_	1.00
鴻	巣 報告	数 111	83	1,546	20	4	36	17	-	-	15	5	5	-	_	7	*	*	*	*	*	*	*
<b>片</b> 阿	未定点当た	9.25	6.92	128.83	2.86	0.57	5.14	2.43	_	_	2.14	0.71	0.71	_	-	2.33	*	*	*	*	*	*	*
東 松	山 報告	数 17	8	474	2	-	6	50	3	2	2	1	_	3	-	_	-	_	-	-	-	-	
	定点当た	り 4.25 ** –	2.00	118.50	0.67		2.00	16.67	1.00	0.67	0.67	0.33		1.00	-	-							
秩	父程を	~	3.00	100 25.00	0.33		<u>5</u> 1.67			1.00				_	*	*							<del></del>
	起 生 3	数 8		23.00	<u>0.33</u> 1		1.07	_		2	3	1	9	_		1			_				
本	庄炭点当た		2.50	54.75	0.33	_	_	_	_	0.67	1.00	0.33	3.00	_	_	1.00	_	_	_	_	_	_	_
熊	谷報告	数 7	36	700	8	1	5	22	3	_	-	1	6	_	-	1	_	-	-	-	-	1	4
лк	定点当た		4.00	77.78	1.60	0.20	1.00	4.40	0.60	_	_	0.20	1.20	_	_	0.50	_	_	_	_	_	1.00	4.00
加	須 報告	数 8	29	138	9	-	2	-	-	-	3	1	_	-	-	1	-	_	5	-	-	-	2
	定点当た	り 1.60 数 10	5.80 34	27.60 633	3.00	3	0.67 16	20		3	1.00	0.33	2	_		1.00	*	*	5.00 *	*	*	*	2.00
春日	部を表当た		5.67	105.50	1.33	1.00	5.33	6.67	1.33	1.00		0.67	0.67	_			*	*	*	*	*	*	*
_	起 生 ;	数 1.07	71	1.232	34	3	18	23	1.00	2	3	1	3	_	_	1	*	*	*	*	*	*	*
幸	手を見る		7.89	136.89	6.80	0.60	3.60	4.60	0.20	0.40	0.60	0.20	0.60	-	_	0.50	*	*	*	*	*	*	*
坂	<b>声</b> 報告	数 5	22	353	2	-	2	21	-	3	2	2	1	-	-	1	-	_	_	-	-	_	6
-7X	定点当た		5.50	88.25	0.67		0.67	7.00		1.00	0.67	0.67	0.33	_			_						6.00
草	加報告う	数 23	72	627	15		14	33	_	2	0.14	2	2	2	_	0.22	*	*	*	*	*	*	*
	正息当た	り 2.09 数 77	6.55 100	57.00 913	2.14 18	3	2.00	4.71 27		0.29	0.14	0.29	0.29	0.29		0.33	*	*	<u>*</u> 5	*	* 1	* 1	*
狭	山産点当た		7.69	70.23	1.80	0.30	2.20	2.70	0.10	0.60	0.30	0.20	0.20	_	0.20	0.40	_	_	5.00	_	1.00	1.00	1.00
<del></del>	. 報 告 3	数 40	38	350	14	-	21	32	1	6	1	2	3	-	-	-	_	_	1	_	_	-	5
南	部に定点当た	8.00	7.60	70.00	4.67	-	7.00	10.67	0.33	2.00	0.33	0.67	1.00	_	_	_	_	-	1.00	_	-	_	5.00
川越	市報告	效 26	26	833	5	_	22	13	9	5	3	2	7	1	_	2	*	*	*	*	*	*	*
7.1 7.2	正点当た	<u>ابا</u> 2.89	2.89	92.56	1.00		4.40	2.60	1.80	1.00	0.60	0.40	1.40	0.20	_	1.00	*	*	*	*	*	*	*
越 谷	市報告	以 14	30	649 92.71			1 25	11 2.75	0.50	0.25		0.75	1.00	-		_		1.00	6 00			1.00	3 00
	定点当た	り 2.00 数 85	4.29 51	1.093	12		1.25 17	2.75	0.50	0.25	1	0.75	1.00 11	2		3		1.00	6.00			1.00	3.00
川口	市世界の		3.64	78.07	1.50	0.13	2.13	3.25	0.13	0.25	0.13	0.38	1.38	0.25	_	0.75	_	_	1.00	_	_	_	
+ı\+_+	+ 報告	_	83	3,328	40	7	93	119	6	8	4	8	13	1	_	8	-	_	5	_	_	_	4
さいたま	定点当た	<b>9</b> 2.42	1.93	77.40	1.43	0.25	3.32	4.25	0.21	0.29	0.14	0.29	0.46	0.04	_	1.00	-	_	5.00	_	-	-	4.00
( _	. 0.00	١	# 1 E	シインフル	ナン・ザナ	IP〜 /											#2 首	<b>勃性を今</b>	· + \ -	#3 <del>  </del>	った病を	747	

( - : 0.00 ) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 10月 14日 13:45集計

感染症発生状況(定点	<b>把握</b> 対象	(疾患)		報告	患者	<b>首数</b>		年 齢	別			(2025	年第41 <del>3</del>	<u>周</u>	10月6日	∃~10丿	月12日)	)			
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	8
インフルエンザ #1	686	-	2	12	18	28	20	37	61	48	45	34	112	98	59	36	35	21	11	6	
新型コロナウイルス感染症	824	7	10	18	9	11	4	12	7	5	8	15	110	47	75	77	96	110	77	64	
	合計	0歳		1-4				5-9					10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	8
急性呼吸器感染症	14,355	829		5,124				3,681					1,552	541	485	535	470	423	283	205	
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~						
RSウイルス感染症	199	21	40	68	35	22	9	1	2	-	-	1	-	-	-	•					
咽頭結膜熱 咽頭結膜熱	23	_	2	8	3	2	2	2	2	-	-	-	1	1	_	=					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	305	_	-	7	12	27	39	26	33	30	45	23	51	2	10	=					
	447	6	47	74	54	25	49	34	30	22	24	9	49	7	17	=					
水痘	32	3	-	4	-	1	2	2	-	3	7	4	4	2	-	=					
手足口病	48	2	1	17	13	8	2	_	2	1	1	1	-	-	-	=					
云染性紅斑	41	-	2	4	4	9	7	6	3	2	2	1	1	-	-	=					
突発性発しん	37	1	2	25	6	3	-	_	-	-	-	-	-	_	-	=					
ヘルパンギーナ	74	1	7	17	18	15	5	7	1	2	-	_	1	_	-	-					
	9	-	1	_	_	1	-	1	2	-	2	1	1	_	-	-					
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70 <b>~</b>	•
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	27	-	-	2	_	2	3	_	_	-	1	-	4	1	2	7	2	2	-	1	-
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70 <b>~</b>				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	•			
無菌性髄膜炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
マイコプラズマ肺炎	33	1	4	19	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-			
フラミジア肺炎 #3	-	-	-	_	_	_	-	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_			
惑染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	1	1	-	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_			
インフルエンザ(入院)	3	-	_	-	1	1	_	_	_	_	_	_	_	_	1	_	_	_			
新型コロナウイルス感染症(入院)	26	1	_	_	_	_	_	_	_	-	1	_	1	_	3	1	19	=			

<sup>※</sup> 表中の数値は各定点からの報告数(一:0)

<sup>#1</sup> 鳥インフルエンザを除く

# 全国・関東情報

第39週 (9月22日~9月28日)

令和7年10月15日

#### <全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾息(報告定点数:3,859):インフルエンザの定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(8.98)、東京都(1.96)、鹿児島県(1.68)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は46例と前週と比較して減少した。都道府県別では23都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1~9歳(11例)、10代(5例)、20代(1例)、30代(2例)、40代(2例)、60代(1例)、70代(6例)、80歳以上(17例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(10.11)、大分県(10.10)、宮崎県(9.21)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,428例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(70例)、1~9歳(44例)、10代(18例)、20代(19例)、30代(30例)、40代(13例)、50代(56例)、60代(132例)、70代(328例)、80歳以上(718例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,848)定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(86.98)、岩手県(81.41)、栃木県(79.57)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,349):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は佐賀県(4.08)、大分県(3.39)、愛媛県(3.10)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は島根県(0.82)、京都府(0.62)、宮崎県(0.60)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は島根県(0.82)、京都府(4.45)、茨城県(3.24)、京都府(2.67)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(6.64)、岐阜県(6.59)、宮崎県(5.67)である。水痘の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(0.55)、岡山県(0.54)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は北海道(2.52)、銀県(1.64)、大分県(0.81)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第36週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は佐賀県(4.92)、長崎県(3.52)、山形県(3.27)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第36週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮城県(1.97)、山形県(1.73)、群馬県(1.68)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は群馬県(0.24)、宮崎県(0.13)、宮城県(0.10)、長崎県(0.10)である。基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。

基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は秋田県(7.25)、北海道(3.39)、青森県(3.33)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。群馬県から1例報告があり、年齢群別では1~4歳であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第39週(9月22日~ 9月28日):通巻第27巻 第39号 より

### <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、東京都(1.96)からの報告が多い。

### インフルエンザ

1.50 以上

0.70 ~ 1.50

0.70 未満



全国





関東地域 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県



インフルエンザ #1	報告数	4,030	1,720	73	28	10	250	241	818	300
	定点当たり	1.04	1.46	1.07	0.60	0.22	1.43	1.30	1.96	1.24
新型コロナウイルス感染症	報告数	22,640	6,214	495	256	278	1,232	1,061	1,513	1,379
	定点当たり	5.87	5.26	7.28	5.45	6.18	7.04	5.70	3.62	5.70
急性呼吸器感染症	報告数	210,468	73,774	4,430	3,740	3,914	13,657	10,822	22,023	15,188
	定点当たり	54.70	62.68	65.15	79.57	86.98	78.04	58.82	52.69	63.28
RSウイルス感染症	報告数	3,546	936	62	50	51	207	109	264	193
	定点当たり	1.51	1.30	1.63	1.85	2.04	1.88	0.96	1.00	1.36
咽頭結膜熱	報告数	632	161	6	3	9	22	19	71	31
	定点当たり	0.27	0.22	0.16	0.11	0.36	0.20	0.17	0.27	0.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	3,508	1,337	123	69	32	276	253	398	186
	定点当たり	1.49	1.86	3.24	2.56	1.28	2.51	2.24	1.51	1.31
感染性胃腸炎	報告数	8,615	2,648	127	51	141	410	427	1,031	461
	定点当たり	3.67	3.69	3.34	1.89	5.64	3.73	3.78	3.92	3.25
水痘	報告数	507	151	4	5	1	18	25	56	42
	定点当たり	0.22	0.21	0.11	0.19	0.04	0.16	0.22	0.21	0.30
手足口病	報告数	933	269	7	6	6	60	38	106	46
	定点当たり	0.40	0.37	0.18	0.22	0.24	0.55	0.34	0.40	0.32
伝染性紅斑	報告数	2,869	311	38	29	36	43	59	67	39
	定点当たり	1.22	0.43	1.00	1.07	1.44	0.39	0.52	0.25	0.27
突発性発しん	報告数	659	224	9	12	9	43	35	67	49
	定点当たり	0.28	0.31	0.24	0.44	0.36	0.39	0.31	0.25	0.35
ヘルパンギーナ	報告数	1,380	615	12	33	42	114	97	228	89
	定点当たり	0.59	0.86	0.32	1.22	1.68	1.04	0.86	0.87	0.63
流行性耳下腺炎	報告数	125	53	2	1	6	7	3	24	10
	定点当たり	0.05	0.07	0.05	0.04	0.24	0.06	0.03	0.09	0.07
急性出血性結膜炎	報告数	9	3	-	-	_	1	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	_	0.02	-	0.05	-
流行性角結膜炎	報告数	741	274	61	8	16	38	29	40	82
	定点当たり	1.06	1.31	3.59	0.67	1.14	0.88	0.88	1.03	1.61
細菌性髄膜炎 #2	報告数	3	_	_	-	-	_	_	-	-
	定点当たり	0.01	-	_	_	_	_	_	_	_
無菌性髄膜炎	報告数	26	4	_	1	_	_	_	_	3
	定点当たり	0.05	0.05	-	0.14	-	-	-	-	0.25
マイコプラズマ肺炎	報告数	616	111	16	20	25	18	2	19	11
	定点当たり	1.28	1.29	1.23	2.86	2.78	1.50	0.25	0.76	0.92
クラミジア肺炎 #3	報告数	3	-	-	-	-	-	-	-	-

0.01

0.00

0.01

定点当たり

報告数定点当たり

感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)



文化・教育 | 県政情報・統計

トップページ | くらし・環境 | 健康・福祉 しごと・産業 緊急・防災

<u>トップページ > 県政情報・統計 > 県艇要 > 組織案内 > 保健医療部 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症発生動向調査 2025年</u> > 感染症の流行状況 2025年 第41週

### 感染症発生動向調査 2025年

- ▶ 感染症の流行状況 2025年 第1调
- ▶感染症の流行状況 2025年 第2调
- ▶感染症の流行状況 2025年 第3调
- ▶感染症の流行状況 2025年 第4週
- ▶感染症の流行状況 2025年 第5週
- ▶感染症の流行状況 2025年 第6调
- ▶感染症の流行状況 2025年 第7调
- ▶感染症の流行状況 2025年 第8调
- ▶感染症の流行状況 2025年 第9调
- ▶ <u>感染症の流行状況 2025年</u> 第10调
- ▶ 感染症の流行状況 2025年 第11调
- ▶ 感染症の流行状況 2025年 第12调
- ▶ <u>感染症の流行状況 2025年</u> 第13週
- ▶ 感染症の流行状況 2025年 第14週
- ▶ <u>感染症の流行状況 2025年</u> 第15调
- ▶ 感染症の流行状況 2025年 第16调
- ▶ 感染症の流行状況 2025年 第17週
- ▶ 感染症の流行状況 2025年 第18週
- ▶感染症の流行状況 2025年 第19週
- ▶感染症の流行状況 2025年 第20週
- ▶感染症の流行状況 2025年 第21週
- ▶感染症の流行状況 2025年 第22週
- ▶感染症の流行状況 2025年 第23週
- ▶感染症の流行状況 2025年 第24调
- ▶感染症の流行状況 2025年 第25调
- ▶感染症の流行状況 2025年 第26调
- ▶感染症の流行状況 2025年 第27调
- ▶ <u>感染症の流行状況 2025年</u> 第28调

# 感染症の流行状況 2025年 第41週

2025年第41週(10月6日~10月12日)は、2025年4月以降、増加傾向が続いていた百日咳は、減少傾向となっているものの、まだ多い 状況となっています。また、新型コロナウイルス感染症は、第38週以降、減少傾向にあります。

<u>咳エチケット</u>、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で 相談の上、早めに受診してください。

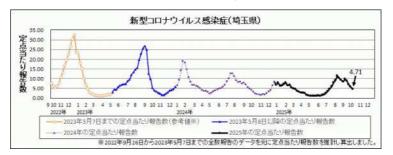
### 全数把握対象疾患(百日咳)

第41週に診断された患者数は63人で、この内訳を年齢階級別にみると、 $10\sim14歳が19人$ (全体の約30%)と最も多く、次いで $5\sim9歳が$ 12人(約19%)でした。



#### 定点把握対象疾患 (新型コロナウイルス感染症)

定点当たり報告数は4.71で、第38週以降、減少傾向にあります。



#### 感染症流行状况

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<u>インフルエンザ</u>	1	**	手足口病	<b>→</b>	*
新型コロナウイルス感染症	<b>\</b>	_	伝染性紅斑(りんご病)	<b>→</b>	*
急性呼吸器感染症	<b>→</b>	_	<u>突発性発しん</u>	<b>→</b>	*
RSウイルス <u>感染症</u>	<b>→</b>	**	<u>ヘルパンギーナ</u>	<b>→</b>	**
咽頭結膜熱(プール熱)	<b>→</b>	*	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	<b>→</b>	*
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<b>→</b>	**	急性出血性結膜炎	<b>→</b>	*
<u>感染性胃腸炎</u>	<b>→</b>	*	流行性角結膜炎	->	*
水痘(みずぼうそう)	<b>→</b>	*			

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少)\*3.流行状況 は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい) \*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が変更となりました。 疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「感染症情報提供サイト」でご覧になれま す。